

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年5月17日(2018.5.17)

【公開番号】特開2017-205646(P2017-205646A)

【公開日】平成29年11月24日(2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-045

【出願番号】特願2017-168760(P2017-168760)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月26日(2018.3.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1制御を行うための第1制御プログラムを記憶する第1制御領域と、

前記第1制御領域とは異なる領域であって、第2制御を行うための第2制御プログラムを記憶する第2制御領域と、

前記第1制御において更新および参照され、前記第2制御においては更新されない可変データを記憶する第1RWM領域と、

前記第1RWM領域とは異なる領域であって、前記第2制御において更新および参照され、前記第1制御においては更新されない可変データを記憶する第2RWM領域と、

前記第1制御および前記第2制御において演算処理を行う際にデータを記憶するレジスタと、

前記第1制御領域、前記第2制御領域、前記第1RWM領域および前記第2RWM領域を有する制御装置が、該制御装置の外部の装置にデータの出力を行うものであって、前記第1制御において更新され、前記第2制御においては更新されない第1出力ポートと、

前記制御装置が、該制御装置の外部の装置にデータの出力を行うものであって、前記第2制御において更新され、前記第1制御においては更新されない第2出力ポートと、

前記第1制御領域および前記第2制御領域を有する単一の制御領域記憶手段と、

前記第1RWM領域および前記第2RWM領域を有する単一のRWM領域記憶手段と、を備え、

前記第1制御領域は、少なくとも、メインルーチンと、前記メインルーチンから呼び出されるサブルーチンを含む、前記第1制御プログラムを記憶し、

前記第2制御領域は、前記第1制御プログラムに呼び出されることにより実行され、終了後に前記第1制御プログラムに復帰させ、また、前記サブルーチンを呼び出すことのない前記第2制御プログラムのみを記憶するとともに、前記外部の装置のうちの1つである試験装置に信号を出力するための処理の少なくとも一部を構成する前記第2制御プログラムを記憶し、

前記第2制御プログラムは、前記第1制御プログラムにより呼び出されることに応じて、前記第1制御における演算処理によるデータが記憶された前記レジスタの値を保護し、前記第2制御プログラムに応じた前記第2制御によって、前記試験装置に信号を出力するため、前記第2出力ポートを更新する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

このような課題を解決するために、本発明に係る遊技機は、第1制御を行うための第1制御プログラムを記憶する第1制御領域と、前記第1制御領域とは異なる領域であって、第2制御を行うための第2制御プログラムを記憶する第2制御領域と、前記第1制御において更新および参照され、前記第2制御においては更新されない可変データを記憶する第1RWM領域と、前記第1RWM領域とは異なる領域であって、前記第2制御において更新および参照され、前記第1制御においては更新されない可変データを記憶する第2RWM領域と、前記第1制御および前記第2制御において演算処理を行う際にデータを記憶するレジスタと、前記第1制御領域、前記第2制御領域、前記第1RWM領域および前記第2RWM領域を有する制御装置が、該制御装置の外部の装置にデータの出力を行うものであって、前記第1制御において更新され、前記第2制御においては更新されない第1出力ポートと、前記制御装置が、該制御装置の外部の装置にデータの出力を行うものであって、前記第2制御において更新され、前記第1制御においては更新されない第2出力ポートと、前記第1制御領域および前記第2制御領域を有する単一の制御領域記憶手段と、前記第1RWM領域および前記第2RWM領域を有する単一のRWM領域記憶手段と、を備え、

前記第1制御領域は、少なくとも、メインルーチンと、前記メインルーチンから呼び出されるサブルーチンを含む、前記第1制御プログラムを記憶し、前記第2制御領域は、前記第1制御プログラムに呼び出されることにより実行され、終了後に前記第1制御プログラムに復帰させ、また、前記サブルーチンを呼び出すことのない前記第2制御プログラムのみを記憶するとともに、前記外部の装置のうちの1つである試験装置に信号を出力するための処理の少なくとも一部を構成する前記第2制御プログラムを記憶し、前記第2制御プログラムは、前記第1制御プログラムにより呼び出されることに応じて、前記第1制御における演算処理によるデータが記憶された前記レジスタの値を保護し、前記第2制御プログラムに応じた前記第2制御によって、前記試験装置に信号を出力するため、前記第2出力ポートを更新する、ことを特徴とする。